

求める資質能力チェックシート

氏名

確かな指導力

キャリアステージに応じた資質能力について、4段階で自己評価してみましょう。

4：そう思う 3：おおむねそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない

キャリアステージ	資質能力	研修領域	目標	年度初	中間期	年度末
				(月 日)	(月 日)	(月 日)
若手教員	●児童生徒の実態把握や授業規律を確保する力	1 学習指導	児童生徒の実態把握などを通して特性を理解し、学習に関する現状や課題を把握することができる。			
		2 学習指導	「岡山型学習指導のスタンダード」「家庭学習のスタンダード」等に基づき、基礎基本を徹底し、授業規律を確保した学習指導を実践するとともに、適切な学習評価を行うことができる。			
	●生徒指導、教育相談の基礎的スキルを身に付け、学級(HR)経営等に生かす力	3 学級(HR)経営生徒指導	児童生徒との信頼関係を築き、児童生徒の規範意識と自己達成感を育成することができる。			
		4 学級(HR)経営生徒指導	学級(HR)経営や問題行動等への対応、教育相談の手法について、基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、生かすことができる。			
	●新たな教育課題に対応するための学び続ける力	5 自己研鑽	学校や市町村の現状や課題に関心をもつとともに、「学び続ける教員」を目指し、必要な能力を伸ばすことができる。			
		6 新たな教育課題への対応	自己研鑽を基に、新たな教育課題に取り組むことができる。 ・アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善 ・道徳教育の充実 ・特別支援教育の充実			
中堅教員(前半)	●個に応じた学習指導や新しい学びを展開できる力	1 学習指導	児童生徒の実態把握などを通して特性を理解し、習熟度別指導と個に応じた適切な学習指導・学習評価を行うことができる。			
		2 学習指導	研修等に積極的に参加し、新たな学びを展開できる効果的な指導方法を習得することができる。			
	●問題行動等の未然防止のために、人間関係づくりを積極的に進める力	3 学級(HR)経営生徒指導	研修等に積極的に参加し、学級における人間関係づくりについての効果的な指導方法を習得することができる。			
		4 学級(HR)経営生徒指導	児童生徒の実態を把握し、問題行動の未然防止や早期解決などに率先して取り組むことができる。			
	●新たな教育課題への対応を進める力	5 自己研鑽	全国及び県の教育の現状や課題に関心をもち、幅広く情報収集に努め自らの識見を高めることができる。			
		6 新たな教育課題への対応	自己研鑽を基に、新たな教育課題への対応策を探り、実施することができる。 ・アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善 ・道徳教育の充実 ・特別支援教育の充実			
中堅教員(後半)	●創意工夫のある質の高い授業を行い、授業改善に取り組む力	1 学習指導	高い専門的知識や技能を生かして教材等を創意工夫し、質の高い授業を行うことができる。			
		2 学習指導	高い専門的知識や技能を生かした授業を積極的に公開するなど、授業改善に取り組むことができる。			
	●高い専門性等を生かし、児童生徒の主体的な態度の育成を組織的に進める力	3 学級(HR)経営生徒指導	一人一人の特性等を十分把握しながら、高い専門的知識や技能を生かして、人間関係づくりを行うことができる。			
		4 学級(HR)経営生徒指導	高い専門的知識や技能を生かし、児童生徒の主体的・実践的な課題解決の態度の育成を組織的に進めることができる。			
	●新たな教育課題への対応を組織的に進める力	5 自己研鑽	全国及び県の教育の現状や課題を理解するとともに、広く教育以外の動向にも関心をもち、自らの識見を高めることができる。			
		6 新たな教育課題への対応	自己研鑽を基に、新たな教育課題への対応について、組織的な取り組みを進めることができる。 ・アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善 ・道徳教育の充実 ・特別支援教育の充実			
ミドルリーダー	●授業改善に向けた助言等を行い、組織全体の授業力を向上させる力	1 学習指導	質の高い授業を行うとともに、適切な助言等を通して、授業改善に向けた教員の意識を高めることができる。			
		2 学習指導	校内における横断的な調整等を積極的に行い、組織全体の授業力向上を図ることができる。			
	●校内における推進的な調整を行い、児童生徒の主体的な態度の育成を組織的に進める力	3 学級(HR)経営生徒指導	校内における横断的な調整等を積極的に行い、望ましい人間関係づくりを学校全体で推進することができる。			
		4 学級(HR)経営生徒指導	校内における横断的な調整等を積極的に行い、児童生徒の主体的・実践的な課題解決の態度の育成を組織的に進めることができる。			
	●新たな教育課題への対応を組織的に進める力	5 自己研鑽	全国及び県の教育の現状や課題を理解し、教育以外の動向にも関心をもち、幅広く情報収集に努め、自らの識見を高めることができる。			
		6 新たな教育課題への対応	自己研鑽を基に、新たな教育課題への対応の中核として組織的な取り組みを進めることができる。 ・アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善 ・道徳教育の充実 ・特別支援教育の充実			

ベテラン教員	●魅力ある授業を実践し、組織全体の授業力向上に貢献する力	1	学習指導	卓越した専門的知識や技能を生かし、教材等の創意工夫や指導方法の改善を行い、魅力ある授業を実践することができる。			
		2	学習指導	卓越した専門的知識や技能を生かし、校内研修の中心的な役割を担うなど、組織全体の授業力向上に貢献することができる。			
	●卓越した専門的知識等を発揮し、組織全体の生徒指導力向上に貢献する力	3	学級(HR)経営 生徒指導	卓越した専門的知識や技能を生かし、児童生徒の能力や特性を踏まえた望ましい人間関係づくりを行う上で、学校全体の要になることができる。			
		4	学級(HR)経営 生徒指導	卓越した専門的知識や技能を生かし、児童生徒の主体的・実践的な課題解決の態度を育成する上で、学校全体の要になることができる。			
	●新たな教育課題への組織的な対応を指導する力	5	自己研鑽	全国及び県の教育の現状や課題を理解するとともに、広く教育以外の動向にも関心を持ち、豊かな識見を一層高めることができる。			
		6	新たな教育課題への対応	自己研鑽を基に、新たな教育課題への組織的な対応を進める上で、卓越した指導力を発揮することができる。 ・アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善 ・ICTを用いた指導法 ・外国語教育の充実 ・道徳教育の充実 ・特別支援教育の充実			

同僚・家庭・地域とつながる力

キャリアステージ	資質能力	研修領域	目標	年度初	中間期	年度末	
				(月日)	(月日)	(月日)	
若手教員	●管理職や同僚等からの指導・助言を受け入れ、管理職や同僚等に報告・連絡・相談したりする力	7	OJT・人材育成	管理職や同僚等からの指導・助言を柔軟に受け入れることができる。校外研修等で学んだことを同僚等に伝えることができる。			
		8	チームマネジメント	マネジメントに基づいて効率的に職務の遂行に当たるとともに、管理職や同僚等に報告・連絡・相談を適切に行うことができる。			
	●家庭・地域と情報共有し、信頼関係を築く力	9	連携・協力	家庭・地域と日常的に適切に情報を共有し、信頼関係を築いて理解・協力を得ることができる。			
中堅教員(前半)	●同僚性の向上に取り組みながら、若手教員に助言したりしながら分掌間の連携や情報の共有を行う力	7	OJT・人材育成	同僚性の向上に取り組みながら、若手教員に対してOJTを行い、具体的で適切な助言を行うことができる。			
		8	チームマネジメント	効率的に分掌間の連携や情報の共有などを図るとともに、学年経営に参画するなどミドルリーダーとして必要なマネジメント力を身に付けようとしている。			
	●家庭・地域、他校種や関係機関と連携する力	9	連携・協力	学校の課題を把握し、家庭・地域、他校種や関係機関と必要な連携を行うことができる。			
中堅教員(後半)	●OJTを推進するとともに、学校の課題解決に向けた取り組みを企画・調整する力	7	OJT・人材育成	管理職や同僚等と連携・協力しながら、若手教員に対して日常的に適切な助言を行い、OJTを通して高い専門的知識や技能を伝えることができる。			
		8	チームマネジメント	学年経営に参画するとともに、分掌の要として、課題解決に向けたチーム学校としての取り組みを、効率的に企画・調整するマネジメント力を発揮できる。			
	●家庭・地域、他校種や関係機関と連携し、課題を解決する力	9	連携・協力	家庭・地域、他校種や関係機関に対して連携・協働を行い、学校の課題解決に取り組むことができる。			
ミドルリーダー	●学校全体のOJTを推進するとともに、解決策の提案や調整を行う力	7	OJT・人材育成	管理職や同僚等と連携・協働しながら学校全体のOJTを推進し、その中心的な役割を担うことができる。			
		8	チームマネジメント	分掌の要として管理職を補佐し、危機管理やチーム学校としての課題の解決策の提案・調整・実践を効率的に行うとともに、副校長・教頭に必要なマネジメント力を身に付けようとしている。			
	●開かれた学校づくりの推進に貢献する力	9	連携・協力	校長のビジョンの周知を図り、家庭・地域、他校種や関係機関との連携・協働を密にして開かれた学校づくりの推進に積極的に寄与することができる。			
ベテラン教員	●OJTにより技能等を伝承するとともに、豊かな経験に基づいて企画・調整する力	7	OJT・人材育成	管理職や同僚等と連携・協働しながら中堅や若手教員に対して、具体的で適切な助言を日常的に行い、OJTを通して卓越した専門的知識や技能を伝えることができる。			
		8	チームマネジメント	学校内外の環境を分析して課題を的確に把握し、豊かな経験に基づいて、得意分野を中心に効果的なチーム学校としての取り組みを効率的に企画・調整するマネジメント力を発揮できる。			
	●家庭・地域、他校種や関係機関とのネットワークを活用し、課題を解決する力	9	連携・協力	家庭・地域、他校種や関係機関とのネットワークを活用し、学校に対するニーズを的確に把握するとともに、学校の課題解決に取り組むことができる。			

基盤となる資質

基盤となる資質は、全てのキャリアステージに共通した資質能力です。今、特に自分の課題と感じている資質能力を五つの中から一つ選び○で囲みましょう。次に、○で囲んだ資質能力を4段階で自己評価してみましょう。

キャリアステージ	資質能力	年度初	中間期	年度末
		(月日)	(月日)	(月日)
共通	10 強い使命感 ・ 高い倫理観 ・ 豊かな教育的愛情 ・ チームワーク ・ 教員としての誇りややりがい			